

大河原 ロータリークラブ会報

2023~2024年度
国際ロータリーのテーマ



世界に希望を
生み出そう

CREATE HOPE
in the WORLD

会長：佐々木由美子 副会長：丸山 勝利 広報・IOC 委員長：佐藤 克美
幹事：鈴木 孝典 副幹事：高橋 英明 副委員長：佐藤 能文
委員：渡辺 和子


2023~2024年度RI会長 ゴードンR. マッキナリー
国際ロータリー第2520地区 森 川 昭 正
2023~2024年度ガバナー

例会日：毎週木曜日 12時30分 例会場：和洋亭ぶざん 柴田郡大河原町字新南 25-18 TEL 0224-51-1113


2024年3月2日(土) 第15回大河原ロータリーカップ少年サッカー大会



2024年3月9日(土) インターシティ・ミーティング

Rotary 

2023~2024年度
インターシティ・ミーティング
テーマ【世界に希望を生み出そう】


CREATE HOPE
in the WORLD

日時：2024年3月9日(土) 開催地
14:30 受付開始 15:00 開会
会場：サッポロビール札幌造瓶工場 ゲストホール

ホストクラブ
名取ロータリークラブ





会長あいさつ 会長 佐々木 由美子

2024年3月7日(木) 第2679回 例会



皆さんこんにちは。3月の声を聞きましたが昨日はまた雪が降りました。隣の金ヶ瀬小学校の児童たちは早速雪だるま作りでしたが、水分の多い雪質のため今回のだるまは1段目だけで、5～6個校庭に放置されていました。

そのような中、本日は月初めということで米山留学生コウ・ギョウキンさんそしてロータリークラブ短期交換派遣生としてオクラホマへ来週出発される 田中 倫裕さんを例会にお招きしました。



3月のオクラホマは平均最高気温が 17.4℃ 平気最低気温 5℃。春からは激しい雷雨と竜巻（年間平均 50 個発生）のシーズンで、気象界では有名な「聖地」だそうです。

来週の渡航を前に本日はお祝いの気持ちを込め、昼食にお赤飯をお召し上がり頂きました。また、現地でお渡しするバナーもご用意させて頂きました。

是非帰国後のお土産話を楽しみにしたいと思います。

次もまた青少年に関するご報告です。

3月2日、3日開催の「第15回大河原ロータリーカップ少年サッカー大会」には今年も遠近各地より16チームの参加を頂き、大河原南小学校校庭と白石川河川敷グラウンドにて熱戦が展開されました。

開会式直後のグラウンド清掃には10名ほどの会員にご協力頂きました。また武藤会員、津田会員にもいろいろと御協力頂いております。皆さん大変ありがとうございました。

今回は寒さと強風に見舞われた中での開催でしたが、次年度は是非大河原ロータリークラブののぼりを設置して大会の盛り上がりにも活用すると良いのではと思った次第です。

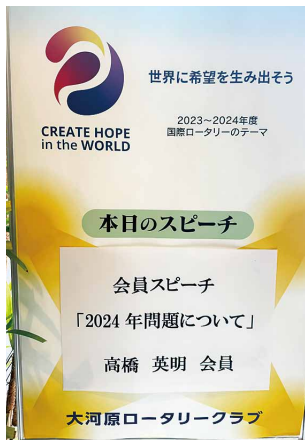


・今月の誕生記念会員

9日 岡崎 隆 会員 25日 渡辺和子 会員

結婚記念会員

3日 佐藤克美 会員 8日 櫻井俊寛 会員 11日 山家正信 会員 13日 高橋英明 会員



2024年3月14日(木) 第2680回例会

皆さんこんにちは。

先週末はインターシティミーティングが名取市のサッポロビール園を会場に開催されました。

ご参加の会員、そして発表の高橋英明会員、大変お疲れ様でした。

各クラブ、今年度の奉仕活動で力を入れている事などについて内容の濃い発表を聞くことができました。

今年度も残り3か月半となりましたが、最後まで奉仕の精神を大事に活動しましょう。



さて、3月11日は東日本大地震から13年でしたが、今年の3・11の日に体験したことをお話ししたいと思います。

3月11日はいつも追悼慰霊祭関連の仕事で福島の大葉町、あるいは富岡町にあります。このあたりは特に帰還困難地域で、依然として道路の封鎖はあちこちに見られます。震災直後と比較すると、随分復興の兆しはありますが、いまだに荒れ果てて放置された建物や田畑はあちらこちらです。

例年、追悼慰霊祭の会場で地震発生時の2時46分を迎え、参列者と共に黙祷するのですが、今年はたまたま富岡町の国道6号線沿いのローソンの駐車場にいました。

地震発生時刻が近づくと富岡町役場の防災無線が黙祷を呼びかける声が流れてきました。

続いてローソンの店員さんが「皆さんよろしくお願ひします」という声が聞こえたと思いバックミラーを確認すると、いつの間にか店の正面横一列に買い物客、店員が並んでいるのが分かり、一瞬びっくりしました。慌てて自分も車を出て列に並ぶと、間もなく2時46分のサイレンが鳴り、それを合図に全員が海の方へ向かって1分間の黙祷を捧げました。

その後、互いにありがとうございましたと声をかけ合いながら再びそれぞれの場所へと戻って行く、僅か2分程度の出来事でした。

実はバックミラーで外の状況を確認してからドアを開けて外に出るまでの数秒間、若干のためらいの気持ちがありました。

でも、今、ここで一緒に黙祷しなかったら、正しい判断をしなかったらずっと後悔が残る思い出になるのは間違いないと思い、少々気恥ずかしい気持ちを勇気に変えて車のドアを開け、列に加えて頂いたのです。

まさかこの日初めて立ち寄ったコンビニで見知らぬ人たちと心一つに黙祷を捧げる状況になるとは想定外の出来事でした。

日常、判断に迷う事などあると思いますが、それが良い事であれば尚のこと「義を見てせざるは勇無きなり」正しい行いだと知りながら実行しないのは勇気がないからだ。ということです。

また、そういう場面で拠り所となり、必要に応じて背中を押してくれるのに役立つもの、それがロータリーソング「4つのテスト」の歌詞であるとも思います。

そんな思いも込めて本日のロータリーソングは「4つのテストで」と、SAAにリクエストさせていただきました。






 世界に希望を生み出そう
 2023~2024年度
 国際ロータリーのテーマ
 CREATE HOPE
 in the WORLD

本日のスピーチ

会員スピーチ
 「戦後間もなく生まれた
 ベビーブーム世代の独り言」
 岩間 範男 会員

大河原ロータリークラブ



2024年3月21日(木) 第2681回 夜間例会

皆さんこんばんは。本日はお彼岸中の夜間例会でございます。
 お盆は数日間なのに対してお彼岸は春分の日または秋分の日を中日として1週間続きます。いつもなぜなのかなと思いつつ、お墓の掃除、彼岸会のお勤めの日々を送ります。

さて、お彼岸はお盆と並んで日本人にとっては欠かせない仏教行事の地位を得ておりますが、この二つは大きく異なる点があります。

まず「お盆」についてです。お釈迦さまがお亡くなりになった後その教えを様々な部派がさまざまなお経を編纂し文字にして伝えるようになりました。その中に「うら ぼんぎょう盂蘭盆経」というのがありました。「もくれんそんじや盂蘭盆経」には、お釈迦様の弟子の目連尊者の母親が餓鬼道に落ちて苦しい目に遭っているとき、お釈迦様の教えに従って7月15日に多くの徳の高い僧侶に供養を施して母親を救った出来事が説かれていて、そこから仏様や祖先のご恩に感謝してご供養する行事となっていきました。

次に「お彼岸」です。お彼岸は日本に仏教が伝来してから様々な要素が混ざり合って日本独特の仏教行事として出来上がりました。





それに春分の日と秋分の日には太陽が真西に沈むため、西の彼方にあると考えられる極楽浄土の方角がはっきりわかるので、この期間にはお墓参りをするようになったと言われます。

「彼岸」とは、仏教用語で「向こう岸」という意味になります。つまり「仏のさとりの世界」を指します。ちなみに「彼岸」の反対語は「此岸^{しがん}」といって「私たちの世界」の意味になります。

以上をざっくりまとめると、インドをルーツにしているのがお盆で、日本で独自に進化したのがお彼岸ということになります。

太陽が真東からのぼり、真西に沈んでいくこの日に此岸の現実の諸々を反省し、彼岸の仏様のお徳を称えて今日の夜間例会、一献傾けることといたしましょう。 合掌



2024年3月28日(木) 第2682回

3月24日開催「名もない花たちの会」主催「南相馬市支援チャリティーコンサート」について

▪ 協賛 大河原ロータリークラブ

昨年（2023）1月に雲走範子様をお迎えしてスピーチを頂いた。

その際に名もない花たちの会活動のために総額 22,000 円を募金した。今回のコンサートではその募金がコンサート開催運営費の一部として使われた。



▪ 2023年1月のスピーチの際

本来は会の代表 山下剛さまをお迎えする所だった。しかし進行性の目の病気のために数年前に完全に視力を失ってしまったという事情で、日常生活で必要な訓練を受けるために北海道の専門施設に入所して訓練中だった。そのため当日の例会に来ることが出来なかった。

▪ 山下剛さまについて

東北医科薬科大学でドイツ語の教授をされた。進行性の目の病気を抱えながらも東日本大震災の直後、「名もない花たちの会」を立ち上げて被災地支援のチャリティーコンサートを年数回のペースで続けてきた。

先日のコンサートで通算 40 回以上の開催。コンサートの収益を被災地に贈る活動を地道に続けてこられた。

▪ これらに関連して

今月初め国際ロータリー認証・奉仕賞担当 スーザン・ゴメス スペシャリストより「ロータリー人道奉仕功労賞」の推薦のお願いがガバナー事務所を通じて届いた。



趣旨は「ロータリーでは情熱とエネルギーをもってクラブと共に活動することに献身的な地域社会のすべての人々を称える。ロータリーを通じて模範的な人道奉仕を行ったロータリアン以外の人 150 名迄を表彰する。各地区ガバナーはこの賞の推薦資格を持つ候補者を自らの地区から 1 名推薦することが出来る」。是非、山下剛さまを推薦したいと思ひ会長の判断でガバナー事務所へ推薦状を提出した。(3/7)

推薦が通った時には改めてお知らせしたい。

